

事業活動実績報告書

施 設 名	葛飾若草幼稚園
教 育 理 念	・子ども一人ひとりの発達段階に即した保育を行う ・体験学習を通して豊かな心情や知的好奇心を高める

1 事業名	保護者も参加で子どもたちと遊ぼう！
2 実施期間	令和7年5月19日 ～ 令和7年10月18日

3	取組概要	（取組日） 令和7年5月19日 ～ 令和7年10月18日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 各学年の保護者が年に2回幼稚園に参加型参観に来園し、行事や日常保育内での保育士と同様のお手伝いをしてもらう。給食の配膳・トイレの補助・制作物の配布、制作の補助、園児の遊びの安全面の補佐、おやつ作りの補佐	
		（取組日） 令和7年5月19日 ～ 令和7年10月18日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	
		（取組日） 令和7年5月19日 ～ 令和7年10月18日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	
		（取組日） 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	

効果検証報告書(新規事業用)

施設名	葛飾若草幼稚園
教育理念	・子ども一人ひとりの発達段階に即した保育を行う ・体験学習を通して豊かな心情や知的好奇心を高める

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康 ○	人間関係 ◎	環境	言葉 ○	表現 ○
1 事業名	新規事業 ○		継続事業		1 年目
	保護者も参加で子どもたちと遊ぼう！				
2 事業概要	保護者が子どもたちと一緒に様々な行事を共に楽しむ				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	3学年(年長組・年中組・年少組)			163 名	
計画時 4 実施体制	園児の保護者が、年に2回、幼稚園に参観に来て、ただ参観するのではなく、様々な行事や日常保育を園児と一緒に参加して、先生の補佐や園児の見守りを行い、共に子どもの成長を喜ぶ 実施場所： 幼稚園、吉川の畑、古民家カフェなど 参加する行事： ニコニコDAY(自由保育日)のおやつ作りや補佐、カレー作り、プール着替え補佐、お茶体験見学、避難訓練、給食配膳補佐、日常保育補佐など 各園児の保護者が行事や日常保育に参加することで、園児も安心して取り組むことができ、親子で楽しい時間を共有することができる				
事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等				
	(効果) ・保護者が子どもと共に保育に携わってくださることで、子どもも安心して園の行事に参加することができるようになった。 ・保護者同士の繋がりも深まり、互いに協力して作業を進める姿が見られるようになった。 ・園の行事や日常保育への保護者の関心が高まり、信頼にも繋がると共に、保育者とのコミュニケーションも取りやすくなったとのこと。 (改善点) ・仕事をしている保護者がより参加しやすい工夫をしていく。				
計画時 5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等				
	満3歳児クラス： 10/15、16、17、2/16、17、18 (6回) 年少組： 6/2、3、9、10、2/2、5、9、10 (8回) 年中組： 6/17、18、19、23、25、12/2、3、4、10、11 (10回) 年長組： 5/19、21、23、26、10/8、9、10、14 (8回) 上記の日程で9:30～最大12:30迄 上記の日程の中で、参加保護者には保育補助を依頼し、各園児の様子を間近で見て共に保育を楽しんでもらう。園児には保護者が共に園で過ごすことで安心して参加することができる。				
	(継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点				

計画時	事業後	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 (効果) ・日常保育で集団遊びに馴染めない子が、保護者が園生活のお手伝いに来ることで気持ちが安定してきて、安心して遊べるようになったこと。 ・各ご家庭で、幼稚園の様子を子どもと共有することができるようになり、親子間のコミュニケーションの幅が広がったとのこと。 (改善点) ・子どもと同じメニューの給食を有料でも保護者も一緒に食べたいという意見が多かったので 次年度は希望者のみ有料で給食の提供も行ってみる。
	6	事業を通じて期待される子どもたちの姿や効果等	保護者が行事や日常保育に参加することで、活動に不安に思っている園児も安心して参加できるようになる。保護者も園での様子を間近で見て、参加することで園児への言葉かけや対応の仕方を知る。
	事業後	6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 (効果) ・子どもが安心して園生活を送れるようになったこと。 ・子育てで保護者が不安に感じていることも実際に園生活を体験してもらうことで、保育者との情報の共有ができ、より援助や助言がしやすくなったこと。 ・保育者も日常保育の中での子どもの様子を伝えやすくなったこと。 ・保育者の子どもへの声掛けや対応の仕方を見て、家庭でも参考にしてもらえるようになったこと。 (改善点) ・決められた日程以外でも保護者に気軽に園生活を体験していただけるように日程などを調節していきたい。
7 効果検証総括			取組を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・働く保護者が増えて子育てに余裕がなく、子どもの成長がわからないという保護者が多くなってきているため、可能な限り保育者と一緒に保育補助をしていただき、子どもの成長やがんばりを間近で感じてもらえるように今後も取り組んでいきたい。 ・保護者が一緒に行事や園生活に携わることで、子どもへの声掛けの仕方や育児相談にも繋がり、保護者同士の繋がりも深まっていく。 ・園行事などに参加し、協力することで、お互いに助け合う心を育むことができています。 ・働いている保護者の負担にならない程度に今後も実施していく。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5つの領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。